

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	陽だまりホーム（共同生活援助）		
開催日時	令和7年10月23日(木) 14:30～16:00		
開催場所	陽だまりホーム ノースステージ・サウスステージ		
出席者	構 成 員	人数	備 考
	事業所職員	4	理事長、管理者兼サービス管理責任者 生活支援員、総務担当者
	利用者	1	
	利用者ご家族	1	母
	地域の関係者	2	行政区長、行政区三役（会計）
	福祉に知見を有する方	1	基幹相談支援センター（センター長）
	経営に知見を有する方	－	
	市町村担当職員	1	八女市障がい者福祉係（主任主事）
次 第	（１）開会挨拶（理事長）※地域連携推進会議の目的説明 （２）出席者の紹介 （３）法人実施事業の説明 （４）陽だまりホーム 活動報告（日常生活の様子や余暇活動等について） （５）意見交換・質疑応答 （６）施設の見学 （７）閉会挨拶（総務担当者）		
協議内容・意見等	（１）～（４）・（６）（７）略  （５）意見交換・質疑応答 （福祉に知見を有する方） 質問１：グループホームは入所施設に比べ、より地域の中にあります。地域の方からの理解についてどのように考えていますか。プライバシー保護やコロナ感染症など配慮する必要がある昨今、地域との関りや理解を進めていく上で、何をどう取り組むべきだと思いますか。 回答１：重度の障害者が多く、感染した場合の重症化リスクも高いため、ここ数年は活動制限が続いていました。この会議開催を新しいスタートとして捉え、施設の中を見て頂き情報交換等を行うことで、理解を深めて頂く第一歩になればと期待しています。毎年この会議を開催していく中で、これからのイベント等、共生に繋げて行ければと考えています。  意見１：三か所のグループホームともに車通りに面しており、立地的には危険が多い環境だと思います。しかし、精神障がい者向けのグループホーム等によく聞かれる「ホームを抜け出して危険な目に遭った」という話は、陽だまりホームでは耳にした事ありません。利用者にとって居心地の良い空間を提供できているのではないかと思います。		

(地域の関係者)

意見 1 : コロナ禍以前は陽だまりホームから地域の祭りに参加してもらったり、こちらから陽だまりの里の祭りにも参加していました。今後もこのような会議を通してお互いの理解を深めていけるように継続して開催して欲しいです。

質問 1 : 利用者の生活について、夕食後すぐに就寝へ向かう施設も多い傾向にありますが、ここではどのような過ごし方をされていますか。余暇時間の過ごし方等についても教えて下さい。

回答 1 : 各グループホームで過ごし方は異なりますが、コロナ禍を経て居室で過ごされる方が多い傾向にあります。全てのグループホームで Wi-Fi 環境を整備しており、居室で音楽鑑賞や YouTube 等の動画配信を楽しまれています。また、障害の程度によってはベッド上でゆっくりと身体を休める方もおられたり、それぞれの思いに沿った時間を過ごされています。

ノースステージ・サウスステージでは、障害も性格も違う方々が自立を目指して生活されています。職員と利用者で希望をすり合わせながら入浴時間を調整し、夕食後に入浴される方もおられます。夕食後は食器洗い、入浴、浴室掃除、洗濯など報告を行いながら進め、職員は最低限の声掛けで見守りを行っています。

また、自主リハビリや言葉遊びカルタ、利用者同士の談話など、それぞれの過ごし方をされています。

(利用者ご家族)

意見 1 : 自宅帰省の際、本人に質問すると「楽しい」という言葉が返ってきます。今まで出来なかった事（洗濯や食器洗い等）が少しずつ出来ていると実感しています。

楽しく生活していることが親としては何より嬉しく思っています。

以上